

## 『農村研究』投稿規定

1. 本誌は査読付き学術雑誌である。
2. 本誌は年2回(9月、翌年3月)刊行する。
3. 投稿は会員に限る。ただし、編集委員会からの依頼原稿についてはこの限りではない。共同執筆は会員以外の者も含めうるが、代表執筆者は会員とする。
4. 投稿の種類は論文、研究ノート、資料、書評などである。なお、投稿原稿は邦文および英文に限る。論文、研究ノート、資料の要件は以下のとおりとする。

論文、研究ノート、資料の共通点は、①主張が明確であり、②研究内容が本学会会員の研究分野に関連するもので、③未発表のものとする。

論文は、①主な先行研究を新たな視点で見直し、又は批判し今後の研究課題に示唆を与えるもので、その課題に対して先行研究と異なる知見を有するもの、又は②新しい研究対象に焦点を当て新たな研究課題を開拓するもので、その課題に対して妥当な研究方法による論述と新知見を有するものとする。

研究ノートは、①独創的な研究課題を設定しているもの又は先行研究の批判的検討を行ううもので、いずれもその研究課題に対応する結論が導かれているもの、又は②早急に公表すべき重要性を有するもので、研究上有用な新知見を明示しているものとする。

資料は、研究上の意義を有しているものとする。
5. 投稿の枚数は図表を含め400字詰め原稿用紙換算で、論文50枚、研究ノート40枚、資料40枚、書評12枚以内とする。図表は合計10枚以内とし、本誌掲載例から判断して原稿用紙相当枚数に換算すること。
6. 原稿は横書き、新かなづかいとし、特殊な用語以外は原則として常用漢字を使用すること。外来語および外国人名はカタカナ表記(例:インフレーション/ジョンソン)、句読点は全角、欧文小文字およびアラビア数字は半角とする。
7. 複合語の送りがなについては、動詞の場合は中送り(例:受け取る/引き上げる)、名詞の場合は片送り(例:受取り/引上げ)を原則とする。その他、代名詞、副詞、接続詞等についてはなるべくかな書きとし、全体として表記の統一を図ること。
8. 論文および研究ノートの構成は、節 [I., II., …], 中節 [(1), (2), …], 小節 [1), 2), …] の順での区分を原則とする。
9. 度量衡単位は km, kg, ha などの略号で表示する。数字は原則としてアラビア数字を使用し、万以上の数については、万, 億, 兆, の単位を用い千の位に、(カンマ)を入れて表記する(例:2億3,500万円)。
10. 図表は、図1…、表1…と表示し、キャプションは図の場合は下側に、表の場合は上側に記すこと。図表の挿入箇所を本文中に指定し、また図については縮尺を明記すること(ともに朱書き)。なお、図表の出所および注の表記法および表記順は以下のとおりとし、表については表の下側に、図についてはキャプションの下側に記載すること。
  - 1) 表記例  
(出所) OECD, 1992: 122.  
(注) \*印の数値は、当該年度の平均値である。
11. 図表は、原則としてモノクロで鮮明に作成すること。ただし、1ページあたり3万円の著者負担で、カラーの図表を使用することができる。
12. 原稿作成に当たって使用した引用・参照文献は、以下の要領で一括整理し、本文ないしは本文末尾の注に引き続いて記載すること。
  - 1) 邦文献については著者名(姓)の五十音順、欧文文献については著者名(ファミリー・ネーム)のアルファベット順に 記載し、それぞれの記載順は邦文献、欧文文献の順とする(下段の表記例を参照)。
  - 2) 文献の表記法および記載順の参照例  
荏開津典生(1994)『「飢餓」と「飽食」』講談社。  
ガルブレイス, J. K. (1988)『経済学の歴史』鈴木哲太郎訳, ダイアモンド社。

ジョージ, スーザン (1984) 『なぜ世界の半分が飢えるのか』 小南祐一郎ほか訳, 朝日新聞社。  
福士正博 (1995) 『環境保護とイギリス農業』 日本経済評論社。  
森島賢 (1991) 「農業構造改革の成果」『農村研究』 東京農業大学農業経済学会, 第 73 号, 1-10。  
Anderson, K. & Tyers, R. (1991), Global Effects of Liberalizing Trade in Farm Products, London, Harvester Wheatsheaf.  
Brown, L. & Kane, H. (1994), Full House : Reassessing the Earth's Population Carrying Capacity, New York, W. W. Norton [ブラウン=ケイン (1995) 『飢餓の世紀』 小島慶三訳, ダイヤモンド社]。  
OECD (1993), Agricultural Trade Liberalisation and India, Paris, OECD.  
Ritchie, M. (1990), "GATT, Agriculture and the Environment : The US Double Zero Plan," Ecologist, Vol. 20, No. 6, 26-38.

- 3) 欧文文献の書名および雑誌名はイタリック体で表記する。表記できない場合には、アンダーラインを付して指示する。また、単行本については発行所の前に発行場所(都市名)を記載すること。
- 4) 同一筆者の文献で同一年に発行されたものがある場合、OECD (1994a), OECD (1994b), …のように発行年の後に a, b, …を付して区別すること。
13. 文献引用箇所および参考文献を本文中に表記する場合、原則として原稿末尾に記載した引用・参考文献をもとに、下記に示すように著者名、発行年、ページをパーレンで囲んで本文の該当箇所に挿入すること。複数の文献を参照する場合には、各文献の間を ; (セミコロン) で区切って表記すること。
  - 1) 表記例  
(Ritchie, 1990 : 26)  
(福士, 1995 : 262)  
(OECD, 1994b : 33-34)  
(福士, 1995 : 144 ; 森島, 1991 : 5)
  - 2) 邦訳の存在する欧文文献で、原典および邦訳の引用箇所を併記する場合は、次のように表記する。  
(Brown & Kane, 1994 : 88 [邦訳 : 96])
  - 3) 邦訳文献のみを参照した場合  
(ガルブレイス, 1988 : 115)
14. 文献引用箇所等を表す以外の注は、本文中に 1), 2), …と通し番号(上付き)を付し、本文の次に一括して記載すること。
15. 提出原稿のスタイルは、A4判で用紙1頁あたり1,200字(40字×30行)のワープロ原稿とする。
16. 論文原稿の冒頭には、タイトルを記載し、和文要約(400字以内)、キーワード(3~6個)を付すこと。原稿には著者名・所属を記入しないこと。また、原稿末尾には英文タイトルを記した英文サマリー(200語程度/半角文字使用)を付すこと。英文による投稿の場合は、原稿の冒頭に英文サマリー(100語以内)、英語のキーワード(3~6個)を付し、原稿末尾には日本語で論文タイトルを記した要旨(800字以内)を付すこと。なお、英文タイトル、英文サマリーは編集委員会で修正することもある。
17. 投稿は、郵送または電子メールにて学会事務局 (office @ fares.jp) に原稿送付状(学会ホームページ上のものをダウンロードし入力すること)、および原稿を提出すること。  
郵送する場合 : 原稿送付状 1部, 原稿 5部  
電子メールの場合 : 原稿送付状, 原稿 1部 (PDF ファイル)
18. 英文による投稿はネイティブ・チェック証明書を提出すること。
19. 上記の投稿規定から著しく逸脱した原稿は受け付けない。
20. 投稿原稿の採否はレフェリーの査読をもとに編集委員会が決定する。採用原稿については加筆・修正を求める場合がある。
21. 原稿提出先は食料・農業・農村経済学会事務局宛とする。
22. 掲載原稿の著作権は、本学会に帰属する。
23. 本誌に掲載された論文等の全部または一部を著者自身が利用する場合、本学会の許諾を必要としない。ただし利用にあたっては、出所を明示しなければならない。